

うしくでびっくり!

NO23

りんごのはなのはまき

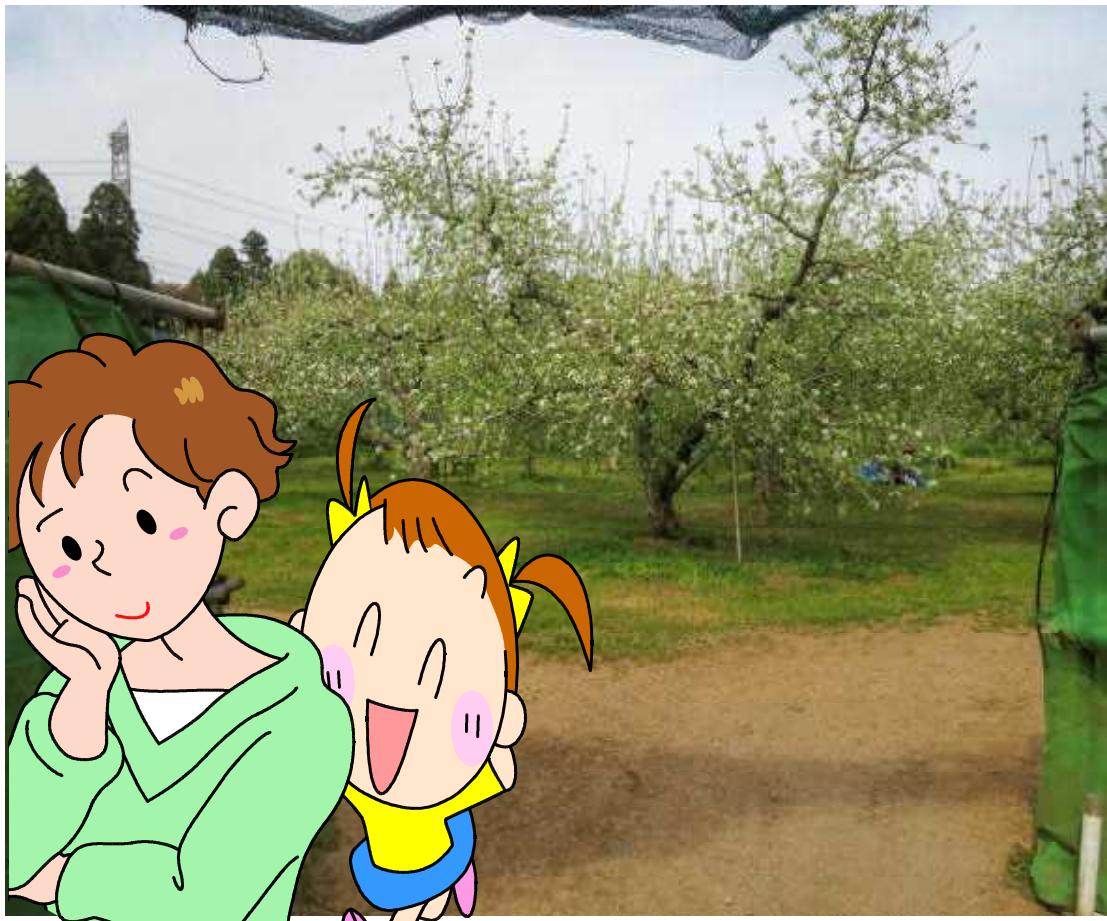
おくの地区社協
ぶん・え いいだ あきお

あるはるのひのこと。
なっちゃんが、おかあさん
と しまだをさんぽをしている
と
「わー、きれい！」



と なっちゃん。

「おかあさん、このはなん
というの？」
と きくと、
「ん~」
かんがえこんでしまった。

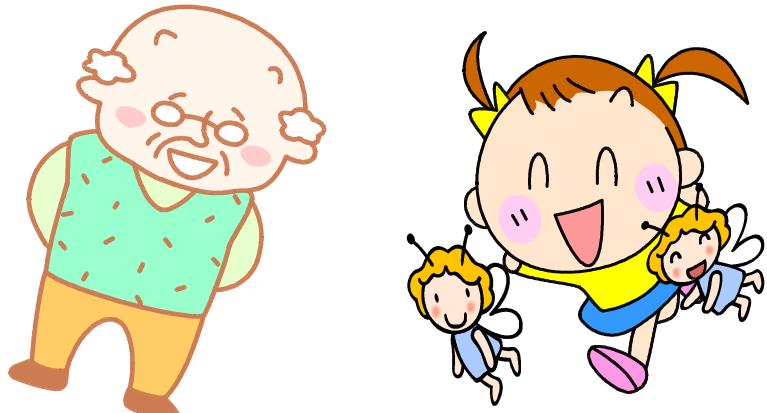


「ん~、 わからないわ。 おじ
いちゃんにきいてみれば」

「そうか、 よーし。 きいてみ
よう」

わくわく
どきどき

そのとき、ようせいがあらわれて、おじいちゃんのところにつれていってくれた。



なっちゃん、ものをよーくしっている おじいちゃんが、だいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんに きいてみると

おしえてくれた。

「このはなは、このへんでは
めずらしいりんごのはなん
だよ」

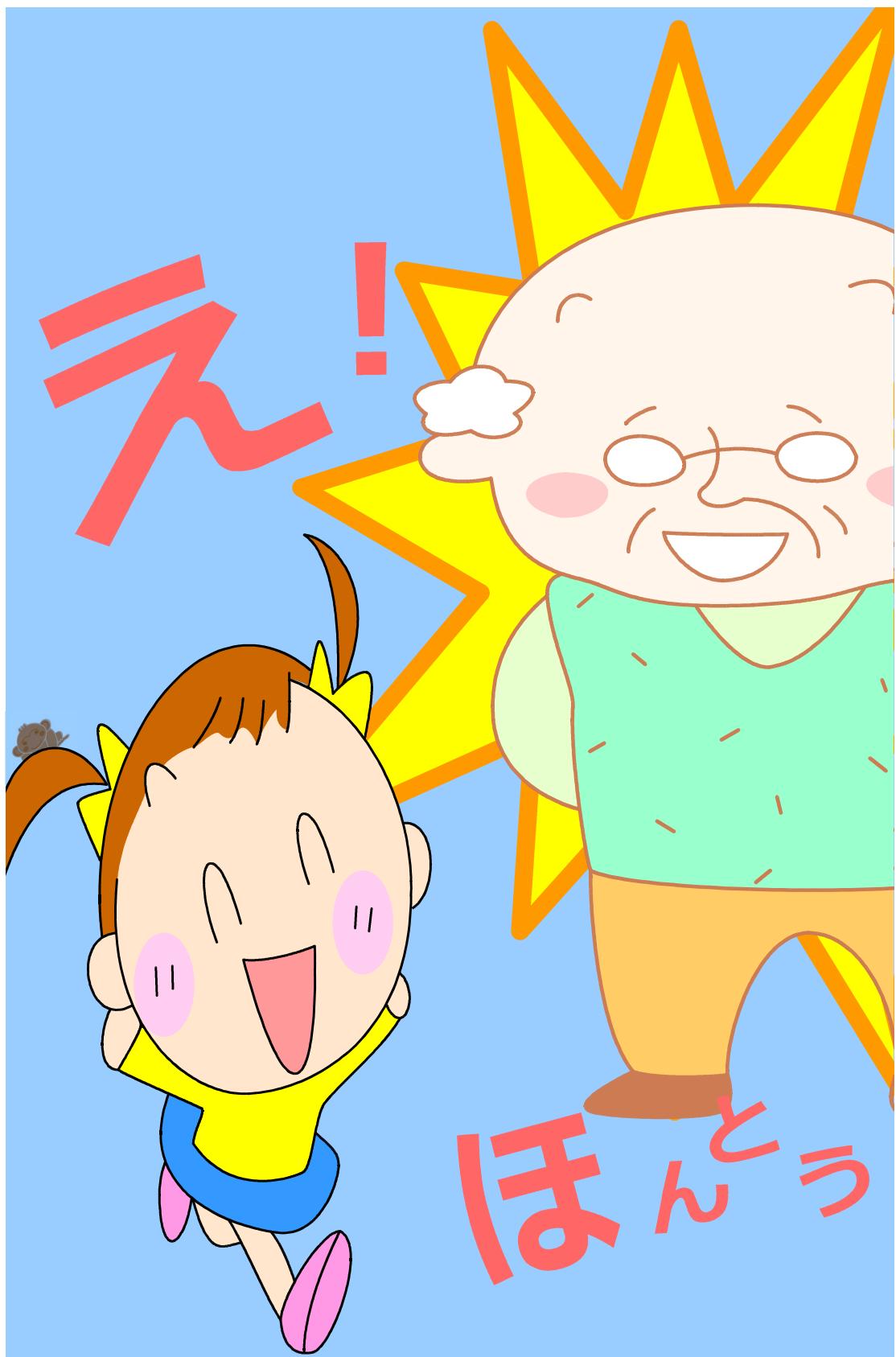


みたことなかつたわ。



くわしいことは、わからな
いから、りんごえんのもちぬ
しのながぬまさんにきいてみ
ようか。

ながぬまさんは、おいしい
りんごを つくっているから、
しっているとおもうんだ。い
っしょにいってみよう。



やくそくのひ。おじいちゃん
と **ながぬまさん** のいえにい
つた。



なっちゃん、ゆうきをだして、
「りんごのはなをみせてくだ
さい。」

と おねがいした。

すると りんごばたけにつ
れていっててくれた。

いりぐちからはいると、り
んごのきにしろいはなが、

いっぱい いっぱい

さいていた。



これはね、フジというりんごのはななんだよ。なかをみせてもらうと、たくさん たくさんのフジのはなが、さいていた。



11がつころ、りんごが、なるんだよ。

ここにも



ここにも



あれあれ！



ちょっぴり
あかいはなが・・・？



それはね、こうぎょく（紅玉）
というんだよ。



わー
きれい！

ここにも



ここにも





ここにも
わー[。]
きれい！



あれあれ！



こんなはなも・・・



それはね、アルプスオトメ
(乙女) のはななんだよ。

フジ と ひめりんご

が、けっこんして、できたんだよ。



なつちゅ~。



なっちゃん、ふしぎにおも
って、きいてみた。

「なんしゅるい、つくってい
るんですか？」

「30しゅるいかな」

すごい！

なっちゃん
またまた



「りんごがりが、ながく（8がつ～11がつ）できるようにしているんだよ。はやくできるりんごと、おそくできるりんごがあるからね。」



いちばん、はやくみになるのは、さんさ。いちばんおそくなるのは、ふじかな」

こうして、なっちゃん、
はじめて、きれいなりん
ごのはなを見て、おくの
のたからもの

「ながぬまりんごえん」
を さいはつけん。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？ 「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。 つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。



またね